

海田町 



Kaita Town Location Optimization Plan

立地適正化計画

令和4(2022)年3月



## <目次>

第1章 はじめに	1-1
1.1 計画策定の目的	1-1
1.2 計画の位置づけ	1-1
1.3 計画の対象区域	1-2
1.4 計画の目標年次	1-2
第2章 海田町の人口の見通しと解決すべき課題	2-1
2.1 海田町の人口の見通し	2-1
2.2 立地適正化計画により解決すべき課題	2-1
第3章 まちづくり方針	3-1
3.1 まちづくり方針	3-1
3.2 目指すべき都市の骨格構造	3-3
第4章 居住誘導区域	4-1
4.1 居住誘導区域の基本的な考え方	4-1
4.2 居住誘導区域設定の考え方	4-1
4.3 居住誘導区域の設定	4-3
4.4 居住誘導区域	4-11
第5章 都市機能誘導区域及び誘導施設	5-1
5.1 都市機能誘導区域	5-1
5.2 誘導施設	5-7
第6章 誘導施策の検討	6-1
6.1 誘導施策の分類	6-1
6.2 本町が行う誘導施策	6-2
6.3 その他の取り組み	6-5
第7章 届出・勧告制度	7-1
7.1 届出制度	7-1
7.2 勧告制度	7-3
第8章 防災指針	8-1
8.1 防災指針の考え方	8-1
8.2 防災指針の検討手順	8-2
8.3 災害リスクの状況整理・リスク分析	8-3
8.4 災害リスクの高い地区の抽出・評価	8-45
8.5 地区ごとの防災上の課題の整理	8-46
8.6 防災まちづくりの将来像等の検討	8-49
8.7 具体的な取り組みの検討	8-52
8.8 居住誘導区域の再検証	8-58
第9章 目標指標と進行管理	9-1
9.1 目標指標	9-1
9.2 進行管理	9-4
資料編	資-1



ごあいさつ



我が国の都市では、急激な人口減少と高齢化を背景として、一定の商圏人口に支えられてきた様々な都市機能の消失などが懸念されており、日常生活の利便性を確保しながら、高齢者や子育て世代にとって、安心できる健康で快適な生活環境の持続が大きな課題となっています。

海田町においても、例外ではなく、将来的な人口減少や高齢化の進展が見込まれており、持続的な発展を維持した都市づくりを進めていくため、今の段階から準備しておく必要があります。

このことから、医療・福祉・商業施設などの生活利便施設や居住等の適切な立地を誘導し、高齢者をはじめとする住民が公共交通によってこれらの生活利便施設にアクセスできる「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を実現するため、「海田町立地適正化計画」を策定しました。

本計画では、まちづくりの基本方針を「移住により増加しつつある若い世代や子育て世代、高齢化により増え続ける高齢者など、誰もが健康で便利に安心して暮らせるまちづくり」として定め、長期を展望しつつ、概ね20年後も持続可能な都市を目指し、定期的に評価・見直しなどを行いながら計画の実現を図ることとしています。

また、本町は居住地の大部分が洪水、高潮、津波、土砂災害等のハザードエリア内に位置しており、自然災害のリスクを抱えている状況にあります。このような状況から近年、頻発化・激甚化する自然災害に対する都市の防災に関する機能の確保を図るため、「立地適正化計画」に「防災指針」を位置づけ、防災・減災対策に取り組むこととしております。

今後は、本計画に基づいた様々な施策について、住民、事業者の皆様と協働・連携しながら取組を推進し、持続可能な海田町のまちづくりを進めてまいりますので、より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、住民アンケート調査などを通して貴重なご意見をいただきました住民の皆様をはじめ、多大なるご尽力をいただきました「海田町都市計画マスタープラン改定及び海田町立地適正化計画策定委員会」及び「海田町都市計画審議会」の委員の皆様、関係者各位に心より感謝申し上げます。

令和4（2022）年3月

海田町長 西田 祐三